



海輪 誠

一般社団法人東北経済連合会 会長

東北の輝かしい未来に向けて

新しい年がスタートしました。おかげさまで東経連は、昨年12月に創立50周年の節目を迎え、「東北は1つ」の理念のもと始まった当会の活動も半世紀が経過しました。これからも新たなステージに向けて、一步一步着実に歩を進めてまいります。

今年の干支は「酉」ですが、「酉」には「果実が極限まで熟した状態」という意味があり、転じて酉年は「成果が得られる」年とされています。

東経連では、これまで東北の発展に向けて、さまざまな事業活動に取り組んでまいりましたが、ここ最近においてもさまざまな成果につながりつつあります。例えば、大型クルーズ船の誘致では、今年4月に乗客定員2千人余りの大型クルーズ船「セレブリティ・ミレニアム」号が新潟、青森、仙台に初寄港します。これは昨年3月にフロリダで行われたクルーズ・コンベンションへの参加以降、関係各所に対して東北の港湾や観光地など寄港地としての魅力を訴求してきたことが実を結んだものです。また、東北放射光施設(SLiT-J)の設置にも取り組んでまいりましたが、建設・運営主体となる一般財団法人がこのたび設立され、実現に向けた機運がますます高まっています。さらに、国際リニアコライダー(ILC)の誘致についても、国内外で実現に向けた動きが着実に進んでいます。本年もこれらの成果をより確実なものとし、今後さらに拡大できるよう、着実に取り組んでまいります。

また、「酉」は夜明けを告げる鳥、ニワトリを指しています。

このたび東経連では、輝かしい東北の未来の実現に向けて、2030年を見据えた新ビジョンを策定しました。本ビジョンでは、東北の目指す姿として「わきたつ東北 ～結び、育み、未来をひらく～」を掲げ、ワーク・ライフ・バランスに優れ、真の豊かさを実感できる、いきいきとした地域社会を実現していくこととしています。そのために東経連では、「地域社会の持続性と魅力を高める」「稼ぐ力を高める」「交流を加速する」を3つの柱に据え、東北独自の地域資源や産業等に、多様で異質な先端的要素が出会い、融合し、新たな価値が誕生するというダイナミックな経済活動を促進するようさまざまな事業を展開してまいります。是非、この新ビジョンが、東北地域が抱えるさまざまな課題を乗り越える契機になり、今年が東北の輝かしい未来に向けた夜明け、幕開けを告げる年になるよう精一杯取り組んでまいります。

本年も会員をはじめ関係各位の皆様からのご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

(東北電力株式会社 取締役会長・かいわ まこと)